

令和 4年11月17日

関係大学長
関係研究機関の長 殿

山口大学共同獣医学部長
度 会 雅 久
(公印省略)

教員の再公募について (依頼)

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、今般、本学部では、下記の要領により、教員を再公募することになりました。

つきましては、ご多用中、誠に恐縮でございますが、関係各位にご周知くださるようお願い申し上げます。

記

1. 公募の対象分野等

- 1) 職種等：獣医学科生体機能学講座（獣医生化生理学） 助教 1名
- 2) 教育研究分野：獣医生化生理学分野
獣医生化学，獣医生理学の視点・手法で研究・教育することができること。
当研究室では、哺乳動物細胞およびモデルマウスを用いて発がんの分子機構の解明と新たな治療法の確立を行っています。当該研究において、マウス個体を扱い、オミクス解析を活用し、研究を推進できる助教を募集します。
- 3) 担当授業科目
共通教育科目：未定
専門教育科目：生化学実習（分担），獣医生理学実習（分担），専攻演習（分担）
ただし、必要に応じて担当科目を変更する場合があります。

2. 応募資格

- 1) 採用予定日（令和5年4月1日）時点の年齢が40歳未満であること。
- 2) 博士の学位を有し（1年以内に取得見込みを含む。），上記の講義および実習を担当できる教育・研究上の能力を有している方。
- 3) 教育・研究活動に精力的であり，かつ学生指導に情熱を持つ方。
- 4) 獣医師免許を有している方。
- 5) 採用予定日（令和5年4月1日）以降，なるべく速やかに着任可能である方。

3. 待遇

給与等雇用条件は、本学の規定による。（※年俸制を適用する。）

4. 提出書類

- | | |
|---|----|
| 1) 履歴書（様式有り） | 1部 |
| 2) 研究業績目録（様式有り） | 2部 |
| 3) 論文の別刷り等 | 2部 |
| （原則として実物を綴じたもの。但し、電子ジャーナル等はプリント可。
なお、著書については著者名、発表年、著書名（分担執筆の場合はその題目）、
頁、出版社名が記載されている複数頁のみをプリントしたもので可。） | |
| 4) 「現在までの教育・研究の概要」と「今後の抱負」について | 1部 |
| （それぞれ1,000字程度） | |
| 5) 推薦者がある場合には推薦書 | 1部 |

5. 応募の期限 **令和4年12月16日（金）必着**

6. 応募者は事前に所定の様式に従った応募書類を下記宛に請求すること。

〒753-8515 山口市吉田 1677-1 山口大学共同獣医学部 総務企画係
TEL 083-933-5943 FAX 083-933-5820
E-mail: ve102@yamaguchi-u.ac.jp

7. 応募書類送付先

〒753-8515 山口市吉田 1677-1 山口大学共同獣医学部長 度会雅久 宛
「獣医学科生体機能学講座（獣医生化生理学）教員応募書類」と朱書きし、簡易書留で
郵送のこと。

* 提出書類により取得する個人情報、採用者の選考及び任用等の手続きを行う目的
で利用するものであり、この目的以外では利用及び提供することはありません。

8. 問い合わせ先

〒753-8515 山口市吉田 1677-1 山口大学共同獣医学部
大学教育職員候補者審査委員会委員長 島田 緑
TEL: 083-933-5909, FAX: 083-933-5909
E-mail: shimada@yamaguchi-u.ac.jp

9. 応募書類の作成について(所定の様式の記入例を参照のこと)

- 履歴書：学歴は高校卒業時より記入する。留学及び外国での研究歴を記入する
場合には、原則として6カ月以上滞在したものに限る。派遣組織名も記述する。
学位は、博士号名称、大学研究科名、認定書番号、及び研究課題名を記述する。
- 研究業績目録：次の区分に従って記入する。
 - 著書：著書は単著と共著を区別して記入する。
(著者名、発表年、執筆題目、頁、著書名、編者、出版社名、出版地、著書の全
頁数、を記載する。)
 - 学術論文：学会誌等で査読制度をもうけているもの。
(著者名、発表年、論文名、掲載誌名、巻、頁を記載する。)

- Ⅲ その他：総説，大学・学部の学術報告，研究会報，業界誌，試験場・研究所報告やシンポジウムのプロシーディング等。
 - Ⅳ 学会発表（口頭・ポスター発表）：最近5カ年の主なもの10件以内の発表者名，開催年，演題名，学術集会名，開催地を簡潔に記述。
 - Ⅴ 特許，科学研究費補助金など外部研究費の獲得実績。
 - Ⅵ 所属学会及び各種受賞実績等。
- 注）Ⅱ，Ⅲ，Ⅳにおいて，応募者の名前にはアンダーラインを引くこと。

10. 応募書類は原則的に返却いたしませんので，ご承知おき願います。
11. 上記の書類選考において選出された候補者には，面接を行うことがあります。また，候補者には本学共同獣医学部においてセミナーを行っていただきます。本審査の日程は別途調整いたしますが，旅費等は「自己負担」となっておりますので，ご承知おき願います。
12. 山口大学は，男女共同参画を推進しており，「男女雇用機会均等法」第8条の規定により，研究者の女性割合を積極的に改善するための措置として，女性を積極的に採用します。
13. 本学では，子育てや介護等によるライフイベントと仕事の両立支援を積極的に行っており，吉田キャンパス内での長期休暇中の学童保育の実施や，病児保育を利用した際の助成制度，研究補助員制度，メンター制度，研究活動復帰支援制度，介護支援制度などを整備しております。（詳細は別紙参照）
14. 着任時の年齢が40歳未満の若手研究者を採用します。これは国の施策である「第6期科学技術・イノベーション基本計画」において掲げられている目標値の達成のため，労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実に関する法律施行規則第1条の3第1項第3号二に該当するものとして実施します。

[付記]

1. 助教の採用基準は以下のとおりです。
 - (1) 博士の学位を取得（1年以内に取得見込みを含む。）していること。
 - (2) 著書及び学術論文が2編以上であり，内2編は筆頭著者であること。
2. 任期制（5年間，再任1回）の条件が付きます。

山口大学はワークライフバランスを支援しています！

山口大学では、大学の構成員（学生・教員・職員）のダイバーシティ（多様性）を積極的に高め、同時に各自の個性と能力が最大限に発揮できるような労働環境の整備に取り組んでいます。そのために、ダイバーシティ推進室ではジェンダーバランスの促進をはじめ、ワークライフバランスのための様々な取組を進めています。詳しくはホームページでも紹介しておりますので、ご覧ください。

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~diversity/>

研究についての支援

研究補助員制度

ライフイベントを抱える本学の研究者を対象に、学部生や大学院生を研究補助員として配置することが可能です。

研究活動復帰支援制度

ライフイベントによる休業等から復帰後1年以内の本学の研究者を対象に、研究活動にかかる経費の一部を助成します。

女性研究者メンター制度

学内において、主に新任の女性教員等を対象に、教育・研究上や大学生活上のさまざまな疑問や悩みを相談できる教員（メンター）とのマッチングを行います。

留学生サポーター制度

語学力で研究活動のサポートを目的として、英語・中国語・韓国語を母国語とする留学生を紹介し、母国語を用いた研究活動の補助業務のためにサポーターとして配置することができます。

子育てや介護についての支援

学童保育 ヤマミ学級

小学校の夏・冬・春休みの間、教職員・学生のお子様を預かる学内学童保育「ヤマミ学級」を運営しています。教員や学生による大学ならではの多彩なプログラムも提供しています。

たんぽぽ保育園 (小串キャンパス)

医学部や附属病院の職員を対象として、安心して働けるよう学内保育園を整備しています。

基本保育90名
病後児保育3名

企業主導型保育所

地域の企業主導型保育施設（6施設）と利用契約を締結し、保育サービスを利用することができます。

病児保育施設等利用助成制度

教職員（共済または社会保険加入者かつ配偶者がある場合には配偶者が就業中の方）のお子様は病児保育施設を利用した場合に、利用料の一部を助成します。事前登録制です。

学内託児スペース貸出

教職員がお子様の保育のために利用できる託児スペースを学内で貸し出しています。保育者は利用者が自費で用意します。保育者については、ダイバーシティ推進室が紹介することもできます。

介護支援

法人契約を締結している支援団体の提供するサービスを受けることができます。

【相談】
介護に関するあらゆる相談についてメール・電話・面談にてお受けします。

【代行業務】
離れて暮らす御両親のお世話等を専門職が代行し、支援します。

カウンセリング相談制度

本学の教職員等を対象に、臨床心理士の専任カウンセラー2名体制により、家庭生活を含むあらゆるご相談やリフレッシュに対応します。



検索

山口大学 ダイバーシティ